

わらどん

令和2年12月 2日

発行責任者
早川北小学校
校長 丹沢伸也

青少年赤十字公開研究会 成功に終わりました

令和元年度に日本赤十字社山梨支部より2年間の研究指定事業を受け、25日水曜日に公開授業研究会が行われました。本来なら多くの学校に呼びかけ、大勢の人に集まってもらう予定でしたが、コロナウイルス感染予防のため参加者を縮小しての実施となりました。

指定を受け、ここまで赤十字の掲げる目標と照らし合わせた教育活動の見直しと「特別の教科 道徳」の授業づくりに取り組んできました。

授業は5年生で行い、文豪ヴィクトル・ユーゴーの代表作「ああ、無情(レ・ミゼラブル)」の話の一部を題材に「広い心 寛容」について考えました。話は、教会から銀の食器を盗み警察に捕らえられた主人公、ジャン・バルジャンに対し、盗まれた司教はそれをとがめることなく、逆に食器は与えたものだと言いき、さらに「忘れ物」といって、銀の燭台も差し出す、という場面です。司教にはジャン・バルジャンに

「正直な人間に生まれ変わってほしい」という願いが込められています。物語を読んだ後、児童たちは「広い心とは何か」、司教はなぜジャ



ンを許すことができたのか」「自分たちだったら、どのようにするだろう?」など思った事を言い合い考えを深めました。参加者が少ないとは言え、大勢の人に注目され緊張気味の児童たちでしたが、自分の率直な思いをしっかりと発表している姿はとても素晴らしかったです。主催者である赤十字の方々も、授業の様子とこれまでの本校の赤十字活動への取り組みに対し大変高い評価をいただきました。これまでの児童と職員との頑張りがあった公開研究会となりました。

ニホンザルってどんな動物? お宝発見から学ぶ

「その道」の専門の方を招いて話を聞く北小の恒例行事「お宝発見」が今年も11月16日に行われました。今回の講師は、野鳥公園でガイドをしている浦井麻友子(わくい まゆこ)さんで、「ニホンザルってどんな動物?」というテーマで、およそ1時間話をしていただきました。浦井さんは大学時代に野鳥公園でインターン活動をしたときに、大西所長が鹿の研究をしている姿に憧れをもったのが、今のスタートとなったそうです。その後、宮城県の金華山島に行き、山小屋で共同生活をしながら調査活動に携わり、そこで猿の研究を勧められ本格的に研究を始め、現在に至っているそうです。

その道の「専門」ではありませんが、先生たちが自分の得意なこと、好きなことを紹介し話す会が朝活動で始まりました。10月末から私校長、深澤先生、志村先生の3人が順に話をしました。私はギターを弾くことが趣味なので、その場で弾いて聞かせたり、児童のリコーダーと合わせて合奏をしたりと、ギターや音楽の楽しさについて話をしました。釣りが趣味で川魚に詳しい深澤先生は、サケ科に属するアマゴ、イワナ、ヤマメそしてサケなど、その特徴や見分け方などクイズ形式で児童に問題を出し

それぞれの「オンラインワン」を 朝活動 先生たちの話

ながら話をしてくれました。番外として、別の得意分野である「体操」をしている学生時代の写真や、審判員として大会に参加している様子も紹介してくれました。志村先生は学生時代フィールドホッケーに打ち込んでいたそうで、当時使っていたポールやスティックを使って基本的なプレーなど実演して見せながらホッケーを紹介し、スポーツの楽しさ、団体で競技するうえで学んだ「責任感」の大切さなど話してくれました。

浦井さんは、猿の特徴、生息、見分け方など様々な話をしていたのですが、猿は通常赤道付近に生息しているのですが、ニホンザルは緯度の最も高い地域に生息し、日本でしか見ることができません。世界的には珍しい生き物だそうですね。作物を荒らす他の動物と同じように、猿も人間にとって「有害」な一面がありますが、木の実を食べた後、種を含んだ排泄物を出すこと



種が芽吹き大きくなって成長して木々となり、森や林となる。そんな風に、山の森を造る役割を担っているようで、児童も私たちも猿への見方が変わりました。浦井さんのように、自分の好きなことに打ち込んで仕事をする姿はとても素敵だと思いました。今後も、様々な「お宝」を持つ方を講師に招き、児童の視野を広げていければと思います。

なから話をしてくれました。番外として、別の得意分野である「体操」をしている学生時代の写真や、審判員として大会に参加している様子も紹介してくれました。志村先生は学生時代フィールドホッケーに打ち込んでいたそうで、当時使っていたポールやスティックを使って基本的なプレーなど実演して見せながらホッケーを紹介し、スポーツの楽しさ、団体で競技するうえで学んだ「責任感」の大切さなど話してくれました。



南北合同スケート教室

11月27日、南北小合同で1、2、3年生が小瀬アイスアリーナでスケート教室を行いました。初めてスケートをやる、という児童もいるようで、とても楽しい一日を過ごすとともに、南小の友達との交流を深めることができました。1月には高学年が同じく合同でスキー教室に出かける予定です。



お知らせ

○アマゴの観察
富士川町の秋山さんから、アマゴの発眼卵と孵化直後の稚魚を、水槽とポンプ一式と合わせ、寄付していただきました。学校でアマゴを育てるのは難しくすぐに近くの川に放流するため、短い観察となりましたが、間近で見ることができた貴重な機会となりました。

○明星大学生よりプレゼント
毎年北小学校を訪れる明星大学の学生ですが、今年度は生憎のコロナ禍の中、訪問の見通しが立っていません。そんな中、学生たちからクリスマスカード、本、そして昨年度訪れた内容をまとめた冊子を贈ってくれました。学生たちの温かい心遣いに感謝をしたいと思います。